

高松市ハンドボール協会長杯 近県小学生大会

女子は4強を逃す

女子も初戦は大勝し8強に進出したが、優勝したコザクラブに屈した。ベストセブンに河上由都輝(呉)、香川のキムタク賞(頑張ったね賞)に三橋昊生(安芸高田)選ばれた。
ベストセブン 呉の河上



▲男子 **頑張りました** ▼女子



男子県選抜 連覇ならず

3位決定戦で涙
 高松大学長杯から名称が変わった高松市ハンドボール協会長杯近県小学生大会と交流戦は1月21、22の両日、香川総合体育館などで開かれた。県勢は選抜で参加、連覇を目指した男子は3位決定戦で敗れ、4位となった。

■県選抜の成績■

【男子】
 ▼1回戦 ○13- 1長尾 (5-1、8-0)
 ▼準々決勝 ○18- 9川島 (6-5、12-4)
 ▼準決勝 ●17-28富山選抜 (8-7、5-13、4-8)
 ▼3位決定戦 ●4-10大分選抜 (1-3、3-7)
 【女子】
 ▼1回戦 ○18- 2讃岐 (10-1、8-1)
 ▼準々決勝 ●5-11コザクラブ (1-7 4-4)

■県選抜交流戦 成績■

【男子】
 △7 - 7綾川 △9 - 9瀬戸
 ○8 - 7香川町 ●4 - 11三重
 ●12-17富山選抜 ●10-12愛媛
 ●5 - 8松井ヶ丘 ●6 - 15大分選抜
 ●6 - 9天城 ●7 - 16明石
 *フリー
 ○11- 9瀬戸
 【女子】
 ○7 - 6大分選抜 ○7 - 1天城
 ○13- 1綾川 △6 - 6三重
 ●6 - 11富山選抜 △7 - 7コザクラブ
 △5 - 5花園女子 ○11- 3長尾
 B○10- 3讃岐B

《県選抜メンバー》

※男子
 GK木原颯太郎(呉音戸4)
 三橋昊生(高田甲立5)
 太田昂(呉山田5)
 CP柳井京(MJル原6)
 下田啓斗(高田向原5)
 今岡慶太(高田甲立5)
 山崎太陽(高田向原5)
 越智遼介(MJル東浄6)
 大田一輝(高田小田東5)
 藤元瑞(呉山田4)
 東藍樹(呉白岳4)
 中本真生(MJル東野5)
 姉ヶ山明(高田小田東5)
 池田庵二(呉山田4)
 中元温大(呉昭和北5)
 ◎河上由都輝(呉昭和北5)
 ※女子
 GK今中紘(高田己斐上6)
 丸井ゆめ(高田小田東6)
 CP猪原夢来(福山深津6)
 山本結莉(高田甲立4)
 大立好音(高田甲立5)
 花田星奈(MJル高田東浄6)
 前川奈々美(高田小田東5)
 小先芹奈(高田小田東6)
 中村碧衣(高田向原6)
 山田蓮珠(高田甲立6)
 ◎田中志織(高田小田東6)
 井上梨奈(福山深津6)
 倉岡優実(MJル己斐上6)
 山下菜花(MJル己斐上6)
 安楽海心(MJル昭和西5)
 (注)◎は主将、高田は安芸高田

フランスで開かれた男子世界選手権で3大会ぶり出場の日本は、1次リーグA組で5戦全敗となり順位決定戦に回り、チリに敗れ24チーム中22位に終わった。

湧永製菓からはGK志水とCP成田が出場した。成田は7試合すべてに出場。DFでの起用が多かったが6得点を挙げた。志水は5試合にエントリー、被シュート30のうち4本をセーブした。

日本22位 男子世界選手権

■男子日本代表 成績■

▽1次リーグA組
 ●29(15-18、14-21)39ロシア
 ●19(9-17、10-14)31フランス
 ●24(12-14、12-13)27ブラジル
 ●25(11-9、14-17)26ポーランド
 ●23(14-19、9-19)38ノルウェー
 ※順位 ⑥5敗
 ▼21-24位決定予備戦
 ○37(18-14、19-12)26アンゴラ
 ▼21-22位決定戦
 ●29(12-17、17-18)35チリ

呉ジュニア 3位届かず

小学生かつおカップ

4回目を迎えた小学生かつおカップ大会は1月14、15日に高知県南国市スポーツセンターで開かれ、安芸高田H.C.が男女、呉ジュニアH.C.は男子が参加した。

呉ジュニアH.C.は予選リーグ4戦全勝の1位で順位リーグに臨んだが4位となり、3位決定戦進出も阻まれた。

安芸高田H.C.男子は予選リーグ3位、順位リーグでは2勝1敗の成績を残した。女子の安芸高田H.C.は予選リーグ4位、3-5位グループリーグで全敗した。

■かつおカップ 女子成績■

★安芸高田H.C.
 ▼予選リーグ ゆず組
 ●0-15境港マリナーズ
 ○5-1V-Powers 岩国
 ●2-3愛媛ジュニアーズ
 ●4-5草内H.C.
 ※順位 ④1勝3敗
 ▼3-5位グループリーグ
 ●1-5高知J.H.C.
 ●5-6V-Powers 岩国
 ●2-7天城ジュニア
 ●3-7草内H.C.
 ※順位 ⑤4敗

■かつおカップ 男子成績■

★安芸高田H.C.
 ▼予選リーグしんたろう組
 ●4-5貝塚バーディーズ
 ●5-8境港マリナーズ
 ○12-4今治ジュニア
 ※③1勝2敗
 ▼3位グループリーグ
 ●11-13草内H.C.
 ○10-1V-Powers 岩国
 ○6-5新居浜ジュニア
 ※順位 ②2勝1敗
 ★呉ジュニアH.C.
 ▼予選リーグまんじろう組
 ○17-0徳島ジュニア
 ○5-4新小
 ○6-1V-Powers 岩国
 ○8-3矢掛フレンズ
 ※順位 ①4勝
 ▼1位グループリーグ
 ●5-11キタイスポーツ
 △5-5貝塚バーディーズ
 ●2-15明石ジュニア
 ※順位 ④1分2敗
 ▼3位決定戦進出戦
 ●2-11新小

■春の全国中学生選手権県予選 成績■

【男子】

▽1回戦
 昭和北中32(17-4、15-9)13呉中央中
 修道中24(16-1、8-4)5片山中

▽準決勝
 甲田中44(22-2、22-2)4昭和北中
 メイプル34(17-2、17-7)9修道中

▽決勝
 メイプル28(11-12、17-10)22甲田中

【女子】
 ▽決勝
 甲田・亀山31(17-0、14-2)2己斐中
 ・メイプル

メイプル、宿敵倒す

春の全国中学生県予選

昨年全国初Vの甲田



女子は甲田中・亀山中・メイプル合同



《女子決勝》

・合同・	得	・己斐中・	得
奥田 理子 (甲田中)	1	織田 愛弥	1
沖田 茉優 (甲田中)	9	杉原 実咲	0
宮本 乃杏 (甲田中)	6	小松原衣純	1
出田 音希 (メイプル・向原中)	5	植垣 美結	0
池元 千紜 (メイプル・向原中)	4	五十嵐千帆	1
薬師寺悠月 (亀山中)	0	金垣 若葉	0
岡村 優衣 (亀山中)	7	福井 菜月	0
重本 悠宇 (甲田中)	0	田原 莉恵	0
日高史由里 (亀山中)	0	伊藤夏奈子	0
渡部 琴美 (亀山中)	1	大田 由美	0
稲垣 絢夏 (甲田中)	1	嶋田 夏歩	0
(注) 合同は甲田中、亀山中、メイプルレッズジュニア合同		見尾 彩羽	1
		篠田 千珠	0
		山田 杏	0
		濱田 碧	0

・甲田中・	得	《男子決勝》	得	・メイプル・	得
笹村 拓斗	1	風呂内海渡 (片山中)	18	荒瀬 廉 (戸坂中)	0
前川 大樹	2	楠原 颯馬 (白岳中)	0	山崎 迅翔 (呉中央中)	1
大田 義也	3	山崎 迅翔 (呉中央中)	1	坂田 良太 (通津中)	2
首藤 岳飛	4	坂田 良太 (通津中)	2	林原 空翔 (白岳中)	1
小先 勇輝	7	坂田 良太 (通津中)	2	小澤 誠介 (向原中)	2
原田 晋平	3	林原 空翔 (白岳中)	1	大崎 優太 (向原中)	0
姉ヶ山 怜	2	小澤 誠介 (向原中)	2	山下 倅輝 (井口中)	1
首藤 颯汰	1	大崎 優太 (向原中)	0	花田 諒斗 (戸坂中)	1
中野 駿介	0	山下 倅輝 (井口中)	1	品川 隼汰 (戸坂中)	3
		花田 諒斗 (戸坂中)	1	岡田 聖斗 (戸坂中)	0
		品川 隼汰 (戸坂中)	3	増野 玲音 (戸坂中)	1
		岡田 聖斗 (戸坂中)	0	地藏堂一樹 (江波中)	0
		増野 玲音 (戸坂中)	1	廣本 颯真 (友中)	0
		地藏堂一樹 (江波中)	0		
		廣本 颯真 (友中)	0		

春の全国中学生選手権県予選は1月8、9日に呉オークアリーナで開かれ、男子はメイプルレッズジュニアスポーツクラブが逆転で甲田中を下し、3年ぶり3度目の優勝を飾り、女子は甲田中・亀山中・メイプルレッズジュニアスポーツクラブ合同チームが己斐中に大勝した。

男女の優勝チームは3月25日から富山県氷見市で行われる全国大会に出場する。

1点リードされて折り返した男子のメイプルレッズは後半立ち上がり4点連取で逆転。その後も着実に加点して、一度も追いつかれることなく6点差をつけて前回の全国覇者・甲田中を破った。なお、メイプル荒瀬がチーム半数以上の18得点を挙げる活躍を見せた。

女子は3チーム合同が己斐中を後半の2点に封じた。

メイプル板野・堀川が受賞 広島市スポーツ協会表彰

昨年、国内外で優秀な成績を挙げた選手や団体に贈られる広島市スポーツ協会表彰にメイプルレッズの板野陽、堀川真奈が選ばれた。

■日本リーグ女子■

(第15週終了現在)

	試合	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
①北国銀行	13	13	0	0	26	352	216	136
②オムロン	13	10	0	3	20	286	237	49
③メイプル	13	7	0	6	14	254	262	-8
④三重	13	6	0	7	12	267	272	-5
⑤ソニー	12	6	0	6	12	241	258	-17
⑥HC名古屋	13	2	0	11	4	226	304	-78
⑦飛騨高山	13	1	0	12	2	208	285	-77

《再開後メイプルの成績》

- 22(9-14、13-9)23ソニー
- 17(8-12、9-10)22北国銀行
- 18(11-5、7-8)13飛騨高山
- 19(8-7、11-8)15三重

■日本リーグ男子■

	試合	勝	分	敗	勝点
①大同特殊鋼	12	10	1	1	21
②トヨタ車体	11	9	0	2	18
③大崎電気	11	7	2	2	16
④湧永製薬	11	6	2	3	14
⑤琉球コラソン	12	6	1	5	13
⑥豊田合成	12	5	1	6	11
⑦トヨタ自動車	11	3	2	6	8
⑧トヨタ紡織	12	1	1	10	3
⑨北陸電力	12	0	0	12	0

世界選手権を終えた男子は11日に再開する。2年連続プレーオフを逃している湧永製薬は6勝2分3敗で4位につけている。残り5試合はトヨタ車体を除き下位との対戦。すべてがアウェイでの戦いだ。まずは再開初戦のトヨタ自動車東日本戦に快勝して流れをつかみたい。

男子は11日に再開

終盤の日本リーグ 4強へ激戦



メイプル 価値ある1勝

三重に競り勝ち3位浮上

日本リーグは1月7日にまず女子が再開。プレーオフ進出へ3チームが大激戦の様相を呈している。

メイプルは13試合を終えて7勝6敗と白星が先行、3位に浮上した。

1月28日、中区SCでの三重戦を制し、価値ある1勝を挙げた。互いに落とせない戦いは後半20分過ぎ一度は同点とされたが、直後に高山がリバウンドを拾って押し込み、新加入の李美京も2得点と両エースが執念のゴールを決め突き放した。残り5試合はすべて地元。声援を力に4強入りへ前進したい。